

健康

治療中のコロナワクチン接種

質問

抗がん剤治療を受けている77歳女性のがん患者です。高齢者への新型コロナウィルスのワクチン接種が始まりました。抗がん剤治療を受けているのでワクチン接種を受けていいのか不安です。治療中のがん患者でもワクチン接種は大丈夫ですか。



東 桃代
徳島大学病院
感染制御部長

回答

新型コロナウイルス
ウィルス感染

症は変異株による感染爆発が、海外のみならず日本国内でも深刻な影響をもたらしています。そして収束のめどが立たない状況です。今後、新たに出てくる変異株を含め、効果のあるワクチン接種をどれだけ早く確実に進めるかが、重症患者を減らし、安心な生活を取り戻す鍵になると思います。

日本では、ファイザー社のワクチンが承認され、2月に医療従事者から接種が始まりました。また、アストラゼネカ社、モデルナ社のワクチンは、厚生労働省が現在、海外の治験のデータなどを基に有効性や安全性を審査しています。

ワクチンの安全性は、どうでしょう。ファイザー社のワクチンでは、国内で重いアレルギー症状のアナフィラキシーが25万1万704

感染リスク減へ積極的に



5回接種のうち94件であり、0.0007%と報告されました。

接種後には一定頻度でアナフィラキシーが出るのが前提で、対策を取りながら、食物アレルギーなど既往症がある人は、特に注意してワクチン接種を受ける必要があります。有効性は海外データから95%が期待できます。

現在の国内で流行している

がん何でもクイズ

市町村が行う対策型がん検診のうち、唯一、20歳から受診が推奨される検診はどれでしょう。
①乳がん ②子宮頸がん ③大腸がん

行こうよ！がん検診



イラスト・村田 勝彦

者が新型コロナウイルスに感染すると、合併症の発症率や重症化率、死亡率が高いことが明らかです。つまり、がん患者は、ワクチン接種の優先度が高いと言えます。

抗がん剤治療を受けている免疫不全患者の一部はワクチンの反応性の低下があるかもしれませんが、それでもワクチン接種がもたらす予防効果を考えれば、がん患者は積極的にワクチン接種を受け、できるだけ感染リスクを下げるのが重要です。

これまでの海外の臨床試験では、抗がん剤治療を受けている人がワクチン試験の対象から除外されていたため、十分なデータがありません。個々の免疫不全の状況による新型コロナウイルスワクチンの有効性、抗がん剤とワクチンの影響など検討の必要な問題が未解決なのが現状です。

一人で悩まずに主治医とよく相談し、接種の時期や部位を相談して計画するのが大切。安全に安心してワクチン接種を受けてください。(第4土曜掲載)

時期や部位主治医と相談を

がんに関する質問は
徳島がん対策センター
電話088(634)6442
(平日午前8時半から午後5時まで)